異なる立場からテーマを見つめて自分の考えを述べよう
～ＡＩとの向き合い方～

對馬光揮（市立札幌藻岩高等学校）

令和7年1月

学習課題

テーマに関連する情報を収集し、異なる立場の意見を提示したうえで、自分の考えを述べる。

伸ばしたい力

1	論述の効果的な組み立て方を理解する力
2	論点を明確にしながら内容をまとめる力
3	文章や資料の妥当性・信頼性を吟味する力
4	関連する文章や資料をもとに、必要な情報を関係づけて自分の考えを広げる力

・入試問題として、AI関連の出題は2017年より始まった。
・初期の問題は、「AIが人間の仕事を奪う」「AIによって格差が生まれる」というようなAI vs 人間といった出題傾向にあった。
・2021年入試から傾向が変わり、現在は「AIに集約される個人情報（ビッグデータ）が、社会にどのような影響を与えるのか」ということをテーマにした出題傾向にある。

1 プラットフォームビジネス
⇒買い手と売り手を結びつける（マッチングや取引の）場・仕組み

便利さ ⇔ 情報操作・監視・政治利用

GAFAM

2 生成AI

効率 ⇔ 誤情報・著作権

3 法の在り方

法が技術に追いつかない
⇒法が技術開発の妨げになり得る（自動運転と道交法）

＊AIにより問題が起きた場合、その責任は？
＊エンジニアからすれば、責任の所在を明らかにしてくれた方が安心して技術開発ができる
＊ただし、法というものは、予防的に機能するのではなく、問題が起きた際に社会で納得される解決を導くことが本来の性質
⇒何かあってもこの範囲ならOKだから安心して技術開発してね、ということは言えない

1. 挨拶
2. このテーマを選択した理由
3. 参考文献・引用文献の紹介
4. 異なる立場の見解
5. 自分の考え

＊要素が全て入っていれば
アレンジ可

主張
根拠
反論を想定 もちろん～。しかし～